

第廿四条 本組合員ニシテ組合ニ多大ノ貢獻アリタルキハ理事會又ハ大会
ノ決議ニ依リ之ヲ表彰ス
第廿五条 本組合員ニシテ組合員タルノ義務ヲ怠リ規約或ハ違反シ又ハ本
組合ノ利益ヲ損スルカキ行ハリタルキハ理事會ノ決議ニ依リ
除名スルヲナスルベシ
第廿六条 支那規則ハ本規則ニ從ヒ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得
第廿七条 本組合員同一ノ主義總領ヲ存スル因由ハ加名スルコトヲ得

行

第

一 本組合ハ大正九年三月七日存下在備前小村東洋カメ合資社職工ト名ニ創立シ
本所邑太平所一丁目法恩寺ニ於テ本組合ヲ設ケタルガ其後東洋カメ合資社
職工ハ全部脱退シタルノ以テ三田上カメ合資社職工トシテトナレリ
大正九年三月十八日備前小村東洋カメ合資社職工ニ上要求ヲ會社ニ提出
會社ハ必要ニ依リ重役職員ニ上要求ヲ容認ス
大正九年七月十四日カメ合資社職工ニ上要求ヲ容認ス
大正九年九月十九日友愛會八週年大會ニ代表者トシテ出席スルコトヲ
決議ス
一 大正十一年一月三十日東京聯合會ニ幹部會副會長ニ上要求ヲ提出ス
在任工ニ對シテカメ合資社職工トシテ組合員約八十名參加ス
一 大正十一年五月一日友愛會主催ノカメ合資社職工組合員約八十名參加ス
一 大正十一年五月廿六日本所三押上俱樂部ニ於テ大會開催スルヤシ鈴木
文治外十四名出席ス
一 大正十一年八月十四日組合幹部會約四十名ハ組合事務所ニ出張會ヲ開キ退
任者以外ニ對シテ決議シテ十五日願田植田好太郎ヲ代表委員トシ
會社ニ要求スルハカメ合資社職工ニ對シテ職工ニ對シテ職工トナレリ
カメ合資社職工ハ新縣長ニ對シテ職工ニ對シテ職工トナレリ
新縣長ニ對シテ職工ニ對シテ職工トナレリ
村本部ハ新縣長ニ對シテ職工ニ對シテ職工トナレリ
中道委員ヲ對シテ職工ニ對シテ職工トナレリ
一 大正十一年一月廿二日午後八時頃組合副理事長清水三郎ハ本所三押上
町一五五番東京聯合會主催ノ三田上カメ合資社職工組合員約八十名ハ本所
カメ合資社職工組合員約八十名ハ本所カメ合資社職工組合員約八十名ハ
本所カメ合資社職工組合員約八十名ハ本所カメ合資社職工組合員約八十名ハ